

T-GAIA

**2020年3月期 第3四半期
決算説明資料**

2020年2月6日
株式会社ティーガイア

免責事項

資料中の業績見通し数値は、現時点において入手可能な情報から得られた判断・予想に基づくものですが、リスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定及び考えに基づきなされたものであります。

実際の業績は、さまざまな要素によりこれら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、事業環境、経済情勢の悪化、法令その他の関連する規制の動向、訴訟における不利な判決等がありますが、これらに限定されるものではありません。

目次（ページ）

①	2020年3月期3Q 連結決算概要	4～7
②	2020年3月期3Qセグメント業績・取り組み	
	・モバイル事業	8～11
	・ソリューション事業	12～16
	・決済サービス事業他	17～22
③	参考資料	23～36



全社決算概要



2020年3月期3Q 連結決算概要

5

(単位：億円)	19/3期 3Q	20/3期 3Q	前年同期比	20/3期 通期計画	達成率
売上高	3,768.0	3,549.5	94.2%	4,320.0	82.2%
売上総利益 (売上総利益率)	507.0 (13.5%)	497.9 (14.0%)	98.2% (+0.5 p)	675.0 (15.6%)	73.8%
販管費	398.6	404.1	101.4%	544.0	74.3%
営業利益 (営業利益率)	108.3 (2.9%)	93.8 (2.6%)	86.7% (▲0.3 p)	131.0 (3.0%)	71.7%
営業外損益 ※ 1 (カード退蔵益他)	42.3	44.0	104.1%	54.0	81.6%
経常利益	150.6	137.9	91.6%	185.0	74.6%
四半期純利益	101.5	92.9	91.5%	124.0	74.9%
販売台数 (万台) ※ 2	298.0	274.7	92.2%		

**20/3期通期計画に対し
概ね想定通り推移**

※ 1 営業外損益を含め、20/3期 通期計画に変更はございません。

※ 2 今期より販売台数にUQ WIMAXを追加し、19/3期3Qの販売台数も修正（19/3期3Q累計+0.5万台、通期+0.7万台）しております。



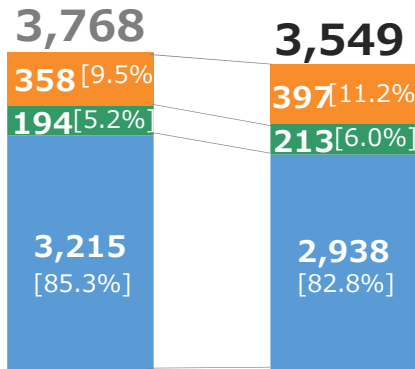
連結売上高・営業利益・四半期純利益

6

■ モバイル事業 ■ ソリューション事業 ■ 決済サービス事業他 ※ [] 内の数値はセグメント別構成比

売上高

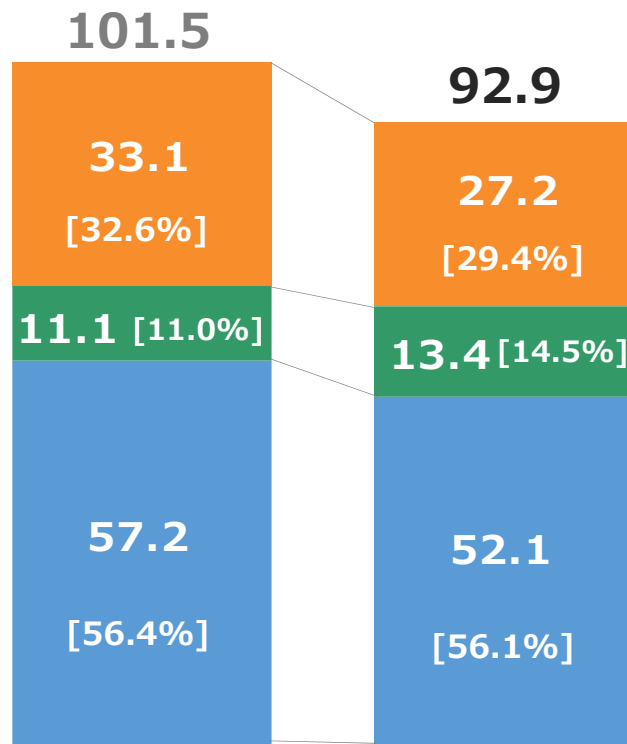
(億円)



携帯電話等販売台数減少の影響を受け、モバイル事業の売上高は減少。

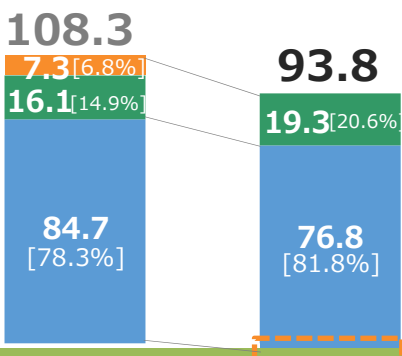
四半期純利益

(億円)



営業利益

(億円)



連結子会社である(株)クオカードにおいて、2019年3月サービス開始の「QUOカードPay」の販促を予定通り行い販管費が増加。

19/3期 3Q 20/3期 3Q

19/3期 3Q 20/3期 3Q

売上高、営業利益、四半期純利益いずれも前年同期比で減少するも
対計画比は概ね想定通り



全社販売台数

7

携帯電話等販売台数

■ 販売台数
(万台)



市場

- 2019年10月
 - ・ 改正電気通信事業法施行
 - ・ 通信料金と端末代金の分離、端末代金値引きの規制
 - ・ 消費税増税
 - ・ 楽天モバイル MNO本格参入延期
- 2020年春 5G※サービス商用スタート

※ 第5世代移動通信システム

消費者

- ・ 端末代金の割高感が増し、買い控え
- ・ 楽天モバイルMNO化、5G開始を期待した様子見
- ・ 新料金プラン開始前・増税前の駆け込み購入による反動

※ Wi-Fi 専用端末、MVNO含む。

※ 販売台数にUQ WIMAXを追加したことに伴い19/3期販売台数を修正（通期+0.7万台）しております。



モバイル事業



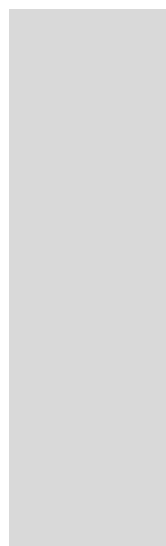
モバイル事業 セグメント業績

9

携帯電話等販売台数

(万台) ※ Wi-Fi 専用端末、MVNO含む

283.8



257.6



19/3期
3Q累計

20/3期
3Q累計

売上高・営業利益・四半期純利益

■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 四半期純利益
(億円)

3,215



84.7



57.2



19/3期
3Q累計

2,938



76.8



52.1



20/3期
3Q累計

10月以降の販売台数大幅減少を受け、
減収減益となるも、対計画比では想定通りの推移

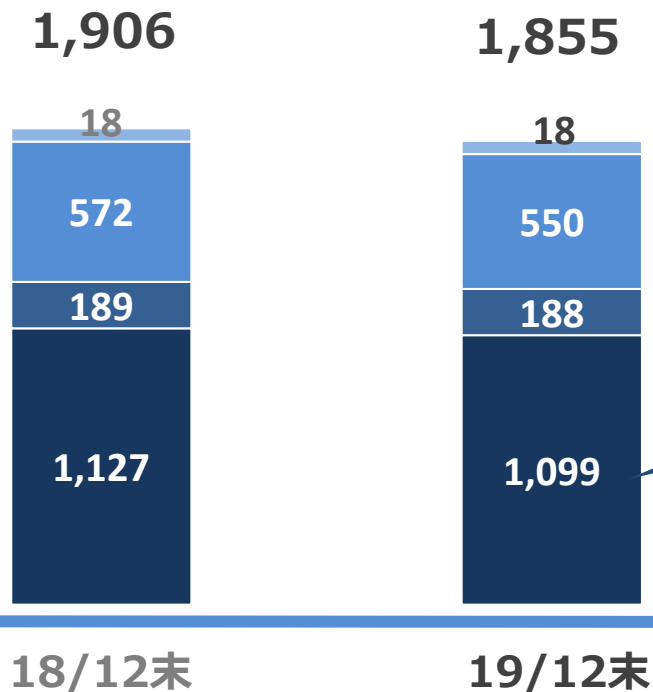


販売拠点数

10

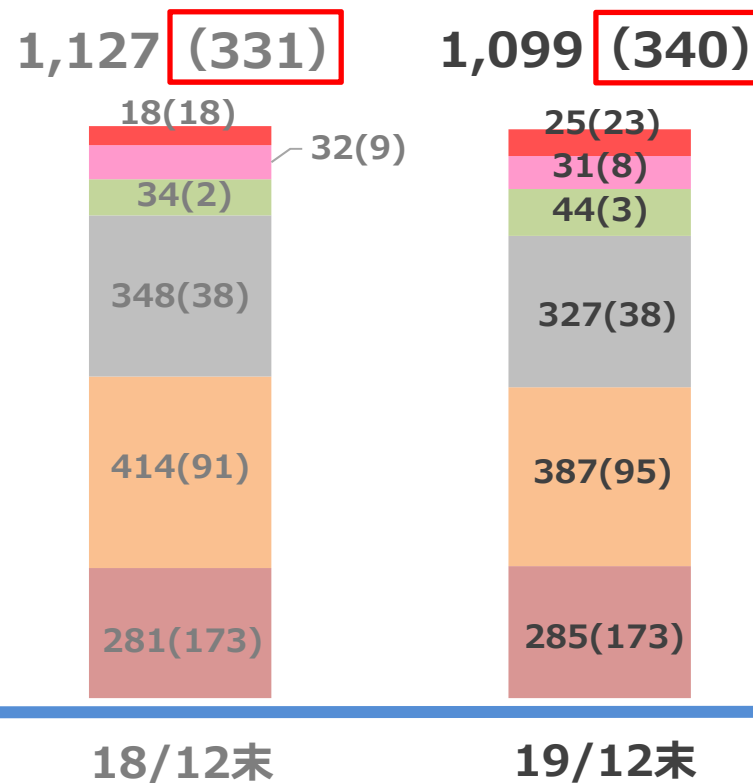
販売拠点数推移

- キャリアショップ
- 併売店等
- 量販店
- アクセサリーショップ



キャリアショップ推移※()内は直営店数

- ドコモ
- au
- SB
- YM
- UQ
- 楽天



キャリアショップの直営化により直営店数増加



移転

11/22

ドコモショップ
アクロスプラザ
南22条店

新店舗

10/25

コラボ店舗オープン

楽天モバイル テラスモール松戸店
/Smart Labo テラスモール松戸



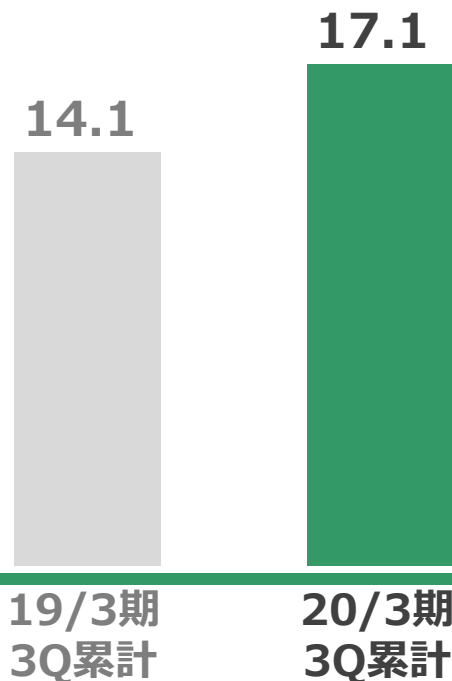


ソリューション事業



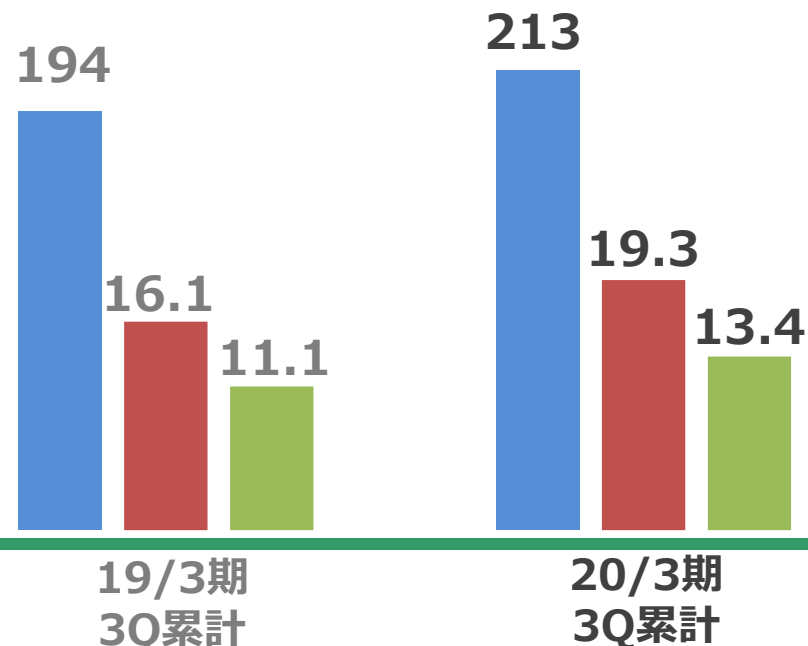
携帯電話等販売台数

(万台) ※ Wi-Fi 専用端末、MVNO含む。



売上高・営業利益・四半期純利益

■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 四半期純利益
(億円)

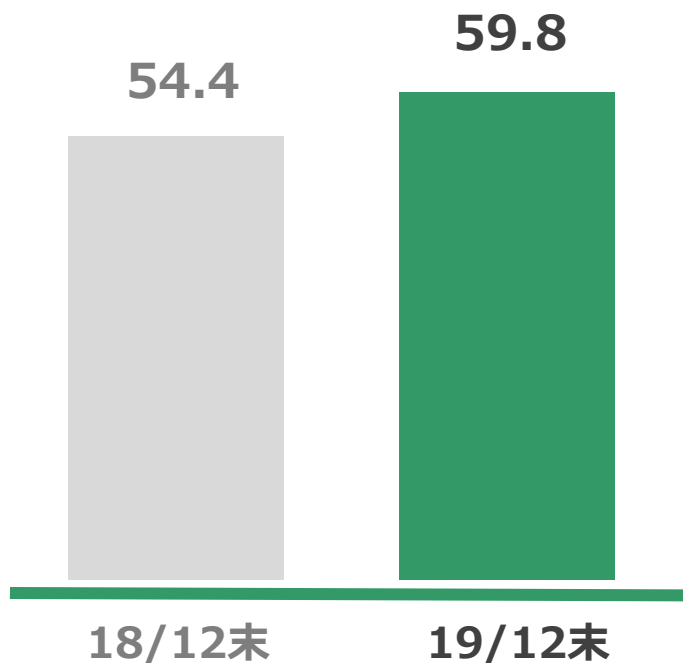


法人向け端末・モバイルソリューションの
販売好調により増収増益

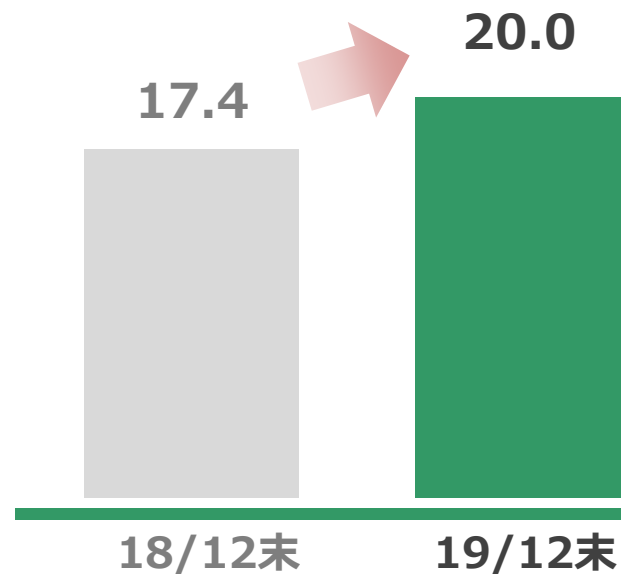


movino star ID数

(万ID) ※ movino star…法人向け通信回線一括管理サービス



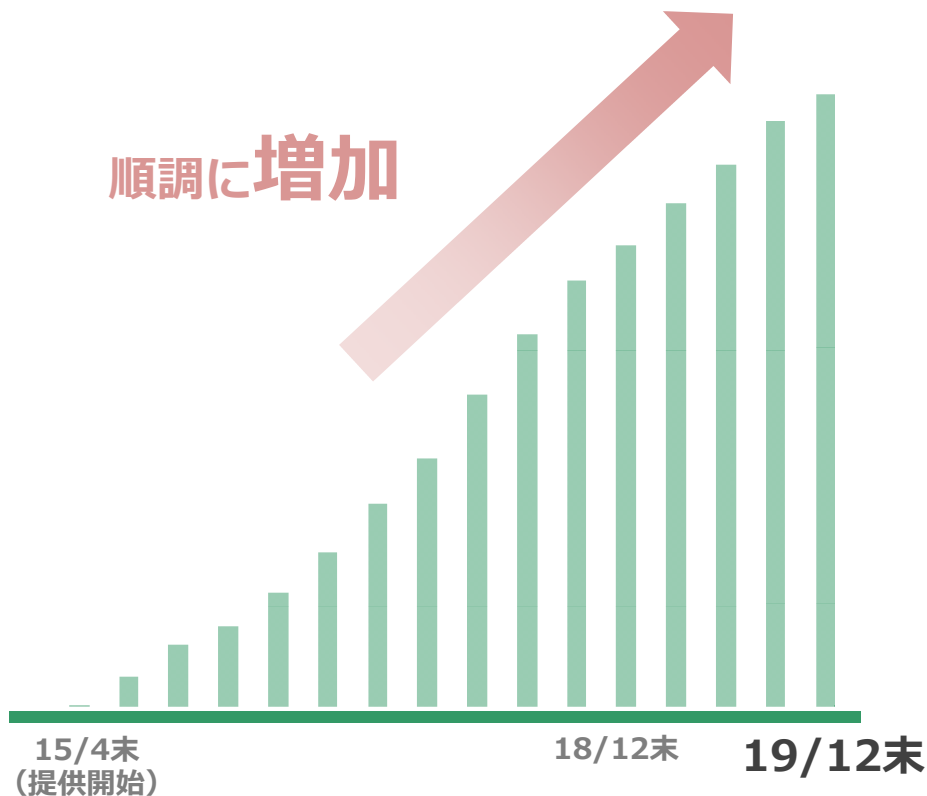
ヘルプデスク ID数



回線数・ID数は順調に増加



TG光 累計回線数（再卸含む）



光アクセスサービス



営業サポートセンター

再卸先・顧客対応の効率化、
スピード向上



TG光登録システム

申込処理を簡素化
案件管理、情報共有をシステム化

サポート品質の向上、業務効率化を実現



2019年11月

Relay2, Inc.への出資

16

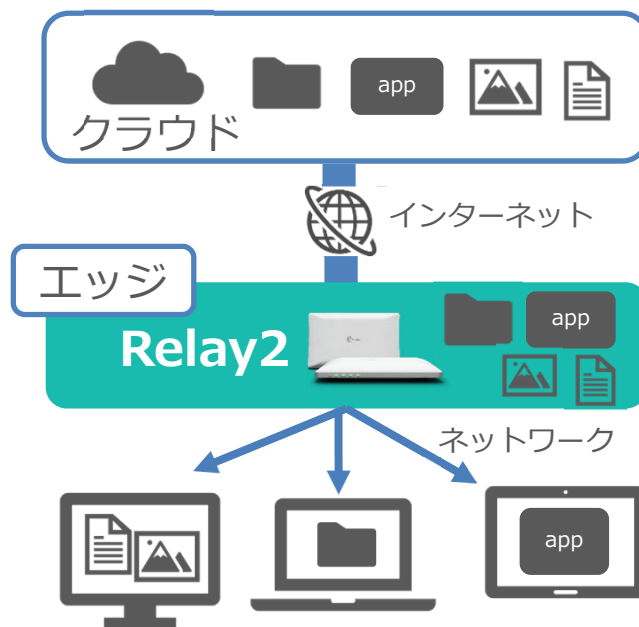


クラウドWi-Fi×エッジ
ソリューションを提供



T-GAIA

通信回線・端末の提供/Wi-Fi環境構築



エッジ コンピューティング

利用者に近い場所で
データを処理

<メリット>

- ・コスト削減
- ・セキュリティリスク低減
- ・リアルタイム

日本市場においてRelay2社製品を独占販売
エッジソリューションの提供が可能に



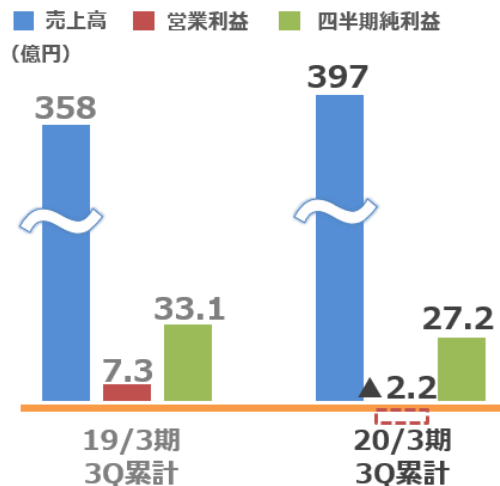
決済サービス事業他



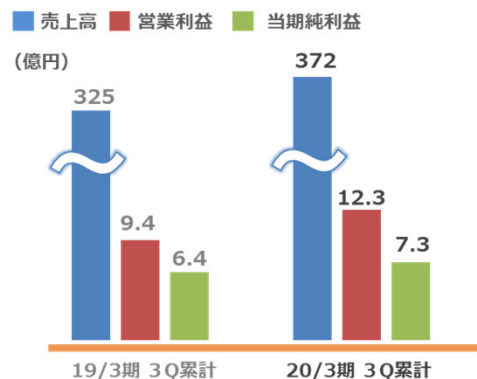
決済サービス事業他 セグメント業績

18

売上高・営業利益・四半期純利益



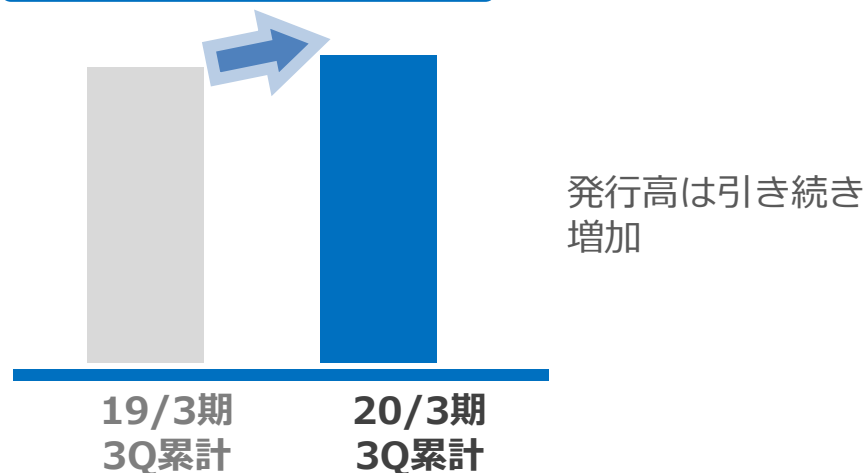
【参考情報】決済サービス事業
(ティーガイア単体)



P I N・ギフトカード取扱高



QUOカード発行高



今期開始したQUOカードPayのプロモーションは予定通り進行
経費増により減益となるも、対計画比は概ね想定通り



2019年11月

株式会社ネットスターズとの資本提携

19

株式会社ネットスターズ



「StarPay（スターペイ）」
20以上の国内外QR決済ブランドと連携
(2019年12月末時点)

マルチQRコード決済ゲートウェイ「StarPay」を
日本国内・アジアを中心とした海外へ
広く普及・展開



2019年11月

BlueStack Systems, Inc.との資本業務提携

20




世界初のモバイルeスポーツ大会向け
プラットフォーム

AI機能とSNS連携により、気軽に大会運営、
参加が可能に。

【当社の強み】

- ・全国に展開する販売拠点
- ・端末販売のノウハウ
- ・決済サービス事業における
ギフトカード/デジタルコード販売

- 
- ・リアル店舗でのオフライン大会、取引先との協業によるオンライン大会実施
 - ・プラットフォーム上でのギフトカード/デジタルコードの販売

などを検討中

5G導入により注目される「eスポーツ」分野へ進出



リアル店舗で使えるデジタルギフト 多彩なキャンペーンを展開

QUO Pay × アスマイル
アスマイルで **300円分**
もらえるねんキャンペーン!

アプリに登録でクオ・カード ペイが
先着 **33,333名** 様にもらえる。

大阪府
健康アプリ登録キャンペーン
※18歳以上のお大阪府民限定

UQ mobile
お支払い先
No.1 試そう! UQキャンペーン

料金診断 か 合計 **14,800円** QUOカードPay
無料お試しで、計 **14,800円** 当たる! 名様に

キャンペーン期間 2020年3月31日(火)まで

UQモバイル
試そう! UQキャンペーン
～2020年3月31日

RIZAP RIZAPを始めるなら今!!

RIZAP × QUOカードPayコラボ企画
QUOカードPay **50,000円分** 還元!

先着 **230名** 様限定

RIZAP
50,000円分
還元キャンペーン
終了済み

最新キャンペーン情報

▶QUOカードPay公式サイト

<https://www.quocard.com/pay/campaign/>





現加盟店

(2020年2月1日現在)

※「QUOカード」とは利用範囲が異なります。

※ ● の付いている加盟店はQUOカードPayのみの加盟店です。

コンビニ

LAWSON

NATURAL
LAWSON

LAWSON STORE 100

Ricco House
CITY CONVENIENCE
(一部店舗を除く)

書店

有隣堂

STORY
STORY

草叢
KUSAMURA
BOOKS

1st.
ブックファースト

三省堂書店
BOOKS SANSEIDO
(一部店舗を除く)

大垣書店
KYOTO since 1942
(一部店舗を除く)

TIME
文真堂書店

☆島屋
(一部店舗を除く)

啓林堂書店

BOOKアマノ

今井書店
(一部店舗)

廣文館
(一部店舗を除く)

HASEGAWA BOOKS & STATIONERY
長谷川書店

伊勢原書店

Avanti Book Center
(一部店舗を除く)

アミューズ書店
(一部店舗を除く)

MEIRO
メトロ書店
(一部店舗)

戸田書店
(一部店舗を除く)

BOOK ACE*

カマツ屋書店

TENICHI BOOKS

誠品生活日本橋
eslite spectrum nihonbashi

HIRASOH
株平 惣
(一部店舗)

TSUTAYA
(一部店舗)

吉見書店
Yoshimi Books
Since 1879

木下書店

富士書房
(一部店舗)

BOOKS ふかた
(守口本店のみ)

本の森 セルバ
(一部店舗を除く)

BOOKS
TANAKA

中村書店
Book&AV communication

岩瀬書店
(プラスゲオ富山店のみ)

BOOKS
えみたす
(一部店舗)

成田本店
(都城 妻ヶ丘本店のみ)

グルメ

上島珈琲店
(一部店舗を除く)

MELLOW
BROWN
COFFEE

UCC Café Plaza
(一部店舗を除く)

吉野家
YOSHINOYA

道と堀

道と堀
OKONOMITAKI

DEKKYU
BUNYU

お好み焼き酒場
とり玉天国

※飲食店 一部店舗を除く

ドラッグストア

V drug
VALUE DRUG STORE

薬
DRUG & COSMETIC
ザンドラッグ

ドラッグトップス

Y
YAKUODO
薬王堂

ドラッグストア
ドラッグストアメモリー

ライフスタイル

CREATIVE LIFE STORE
TOKYU
HANDS
(一部店舗を除く)

Terrace Mall
松戸
(一部店舗を除く)

ステフォレ
STATIONERY FOREST

博品館
TAJIMARAN
TOY PARK
(銀座博品館TOYPARK)

D!
DIREX
(一部店舗)

參考資料



TGビジョン ～わたしたちの目指す姿～

- 新たなコミュニケーションの提案を通じ、お客様に感動・喜び・安心を提供します。

TGミッション ～わたしたちの使命～

- 社員とその家族を大切にし、働く喜びを実感できる企業であり続けます。
- ビジネスパートナー・地域社会・株主と強い信頼関係を築き、ともに発展し続けます。
- リーディングカンパニーとして、変化を先取りし、新たなビジネスに挑戦し続けます。

TGアクション ～わたしたちの行動指針～

- 「ありがとう」を超えるサービスを追求します。
- 情熱とスピード感を持ち、積極果敢に挑戦します。
- コミュニケーションを大切にし、風通しの良い職場をつくります。
- 多様性を尊重し、最高のチームワークを実現します。
- プロフェッショナルとして日々の自己研鑽に努めます。
- いかなるときも高い倫理観に基づき誠実に行動し、コンプライアンスを徹底します。



中期定性目標

当社は、企業理念に基づき、以下目標を達成することで、持続的成長を実現し、株主、従業員を含むすべてのステークホルダーの期待に応えることを、2020年度に向けた中期目標として2015年11月より掲げております。

- 中核の携帯電話代理店事業において、リーディングカンパニーとしてのポジションを堅持する
- 法人向け事業、決済事業、海外事業などを確固たるコアビジネスとして育成する
- モバイル、インターネット業界で、新たな事業機会を発掘、開拓する
- 配当性向30%以上を維持する

また上記を実現するために、以下を全社共通戦略として掲げ、日々具体的方策に取り組んでおります。

- 「人財」の育成、登用、活用、確保を行い、従業員一人ひとりの成果の最大化、最適化を実現する
- 戦略的、継続的コストマネジメントを行い、市場の変化に対応したコスト構造に変革をする
- 組織、制度の最適化を柔軟に行うことで、全社成果の最大化を図る

上記中期目標、全社共通戦略をベースとして、ビジネスラインごとの営業戦略を策定、各営業本部にてアクションプランに落とし込んで、日々その実現に向け取り組んでおります。

＜事業環境＞

スマホ普及が場所、時間を問わないコネクティビティーを実現、コミュニケーション、情報取得、購買手段が大変化。
過去の常識を超えた新ビジネスが続々誕生、
IT企業の覇権を目指した競争が激化すると同時に新たな連携も。

＜当社戦略＞

「ICT周辺総合事業会社」への変身を加速。
全国にある携帯ショップ・営業拠点、多彩なビジネスモデル、
広範な取引関係といったアナログの強みを最大限生かしつつ、
自社のデジタルサービスへの投資も加速。
グループ内事業の連携を図りながら、新たなビジネスに果敢に挑戦。

当社の目指す姿 「ICT周辺総合事業会社」





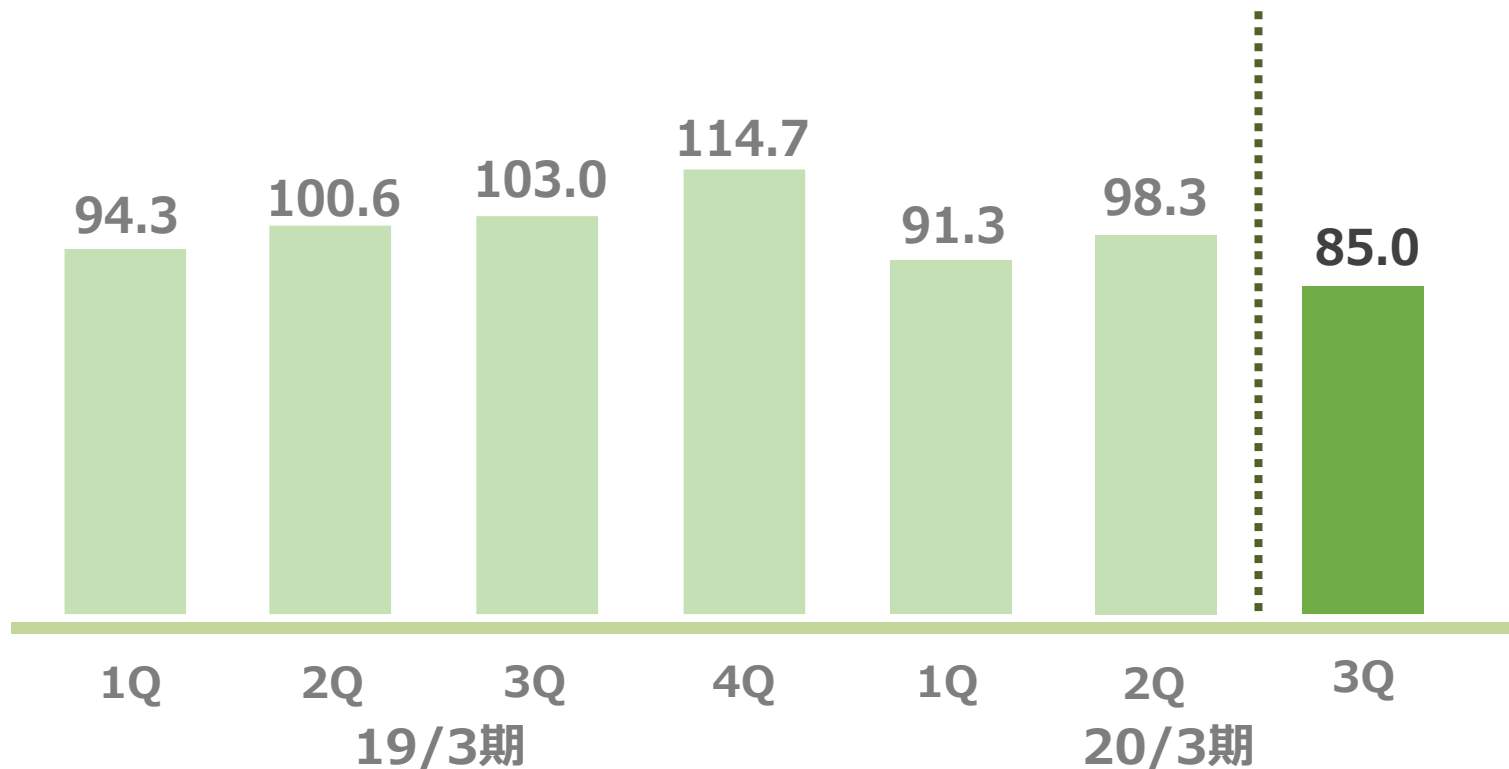
2020年3月期 販売台数 (四半期推移)

28

販売台数 四半期推移

(万台)

2019年10月
改正電気通信事業法施行



※ Wi-Fi 専用端末、MVNO含む。

※ 販売台数にUQ WIMAXを追加したことに伴い19/3期販売台数を修正（通期+0.7万台）しております。

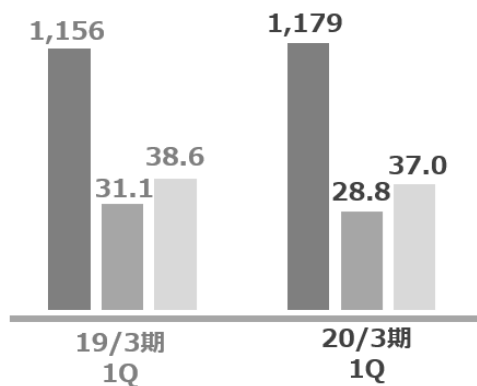


2020年3月期 会計期間比較

29

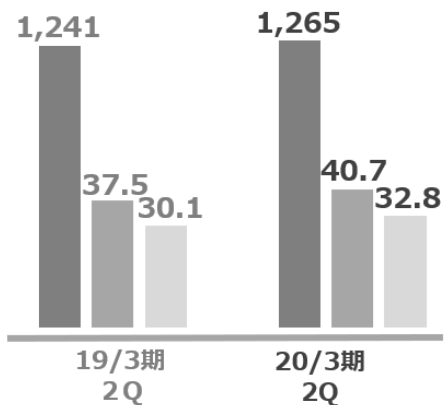
1Q (4~6月)

■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 四半期純利益
(億円)



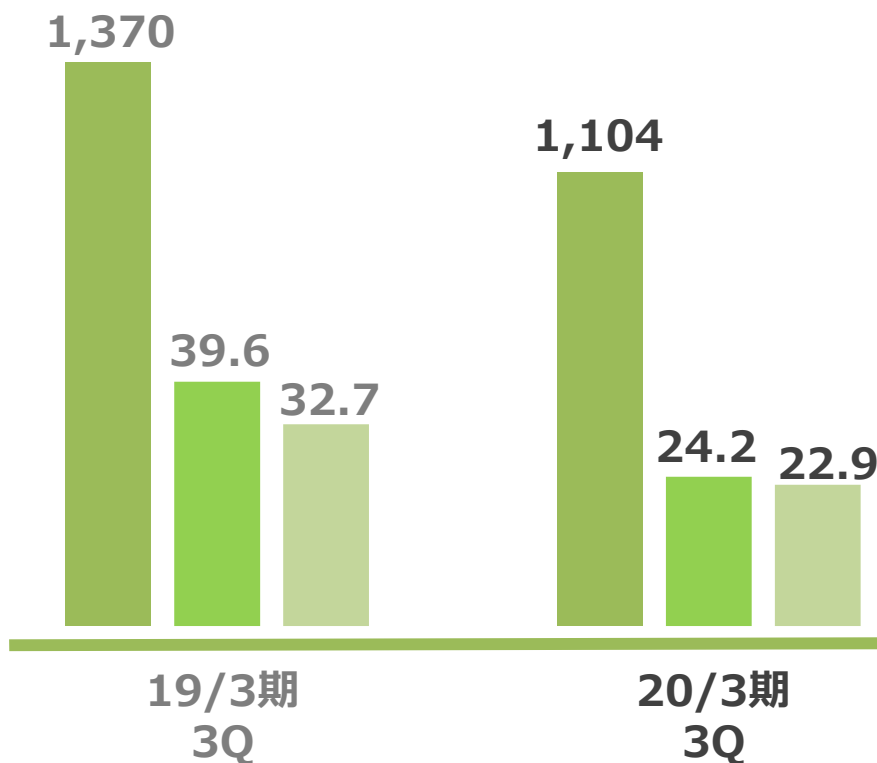
2Q (7~9月)

■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 四半期純利益
(億円)



3Q (10~12月)

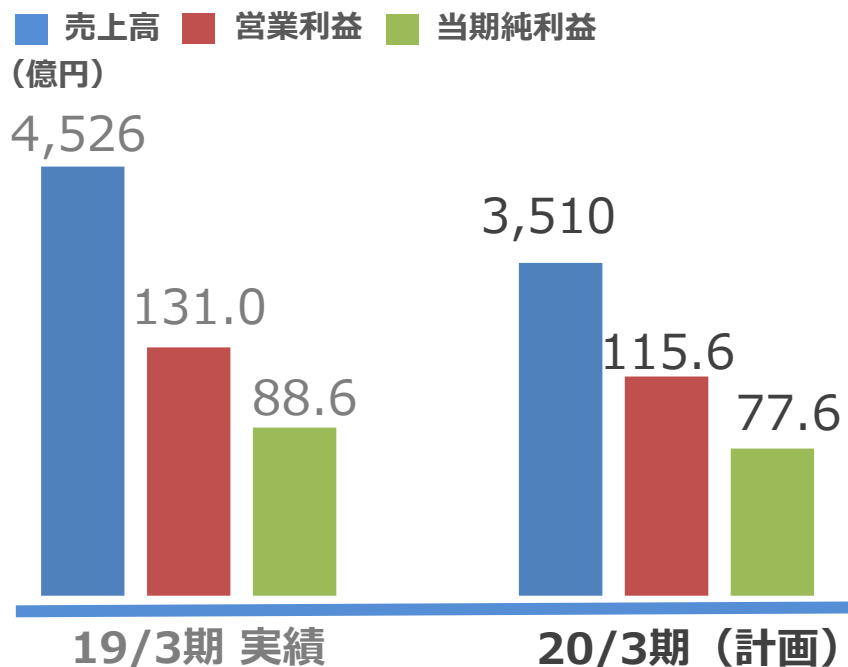
■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 四半期純利益
(億円)



2020年3月期 全社連結業績予想

(単位：億円)	19/3期 通期 実績	20/3期 通期 計画	前期比	
売上高	5,269.2	4,320.0	▲949.2	▲18.0%
売上総利益	709.4	675.0	▲34.4	▲4.9%
販管費	555.6	544.0	▲11.6	▲2.1%
営業利益	153.8	131.0	▲22.8	▲14.8%
営業外損益 (カード退蔵益他)	52.1	54.0	+1.9	+3.6%
経常利益	205.9	185.0	▲20.9	▲10.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	138.4	124.0	▲14.4	▲10.4%

モバイル事業 業績予想



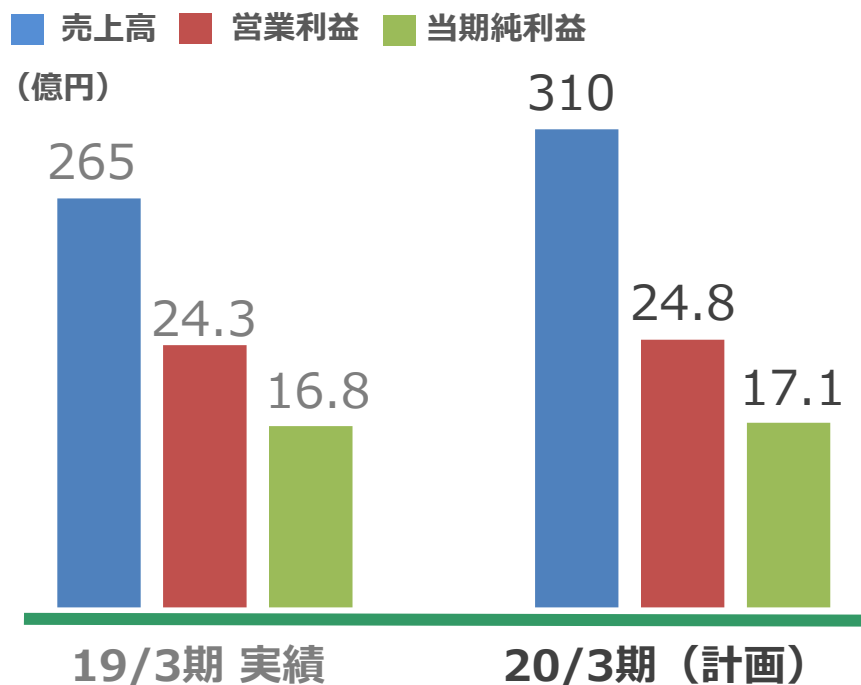
<事業環境>

10月の端末販売に関する法改正と
新通信事業者誕生で、業界を動かす
大きなうねり発生
5G開始準備

<当社戦略>

- 携帯電話端末代金と通信料金の完全分離の影響で販売台数減少に対応した「価値提案」強化（電話教室の実施やIoTショールーム設置等）
- スtock型の収益比率の向上
- 販売力強化とお客様満足度向上のための人員確保、積極的な教育投資の実施
- 引き続き店舗の移転・改装等の戦略的投資を継続

ソリューション事業 業績予想



<事業環境>

働き方改革、人手不足の追い風
スマートデバイス導入企業増加
情報セキュリティ問題深刻化
「光」再おろしスタート

<当社戦略>

法人向けモバイルソリューション事業

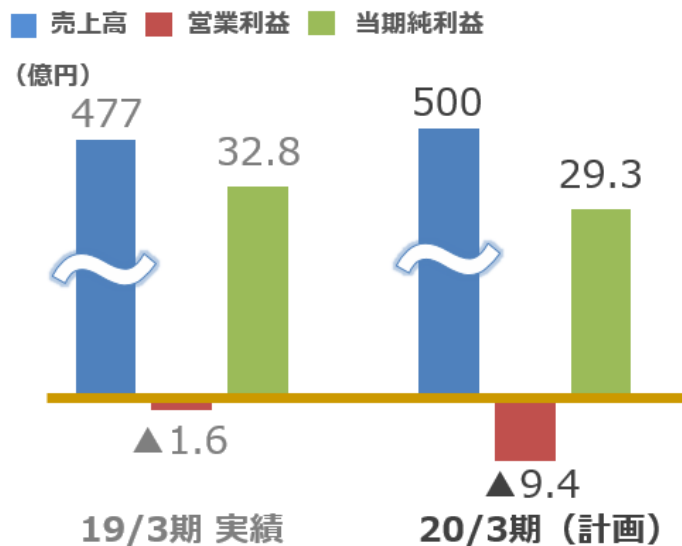
- モバイル版「LCM事業」促進
- ベンチャー企業との資本提携を通じた、IoTビジネス促進
- 「movino star」他ストックビジネス促進

ネットワーク事業

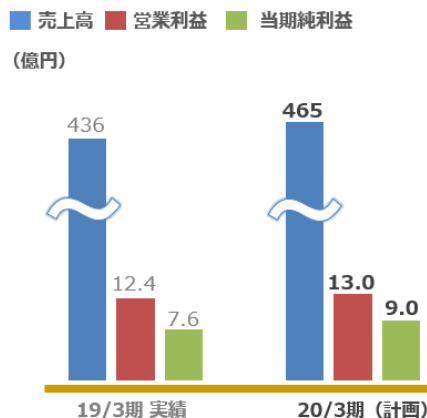
- 「T G 光」の収益基盤拡大
- 営業支援システム活用による生産性向上



決済サービス事業 業績予想



【参考情報】決済サービス事業 業績予想 (ディーガイア単体)



<事業環境>

ギフトカード、PINは堅調に推移
スマホキャッシュレス決済拡大

<当社戦略>

決済サービス事業

- 商材・販路の拡大で取扱高伸長
- 「QUOカードPay」の大規模な販売促進（約10億円の予定）を実施

海外事業

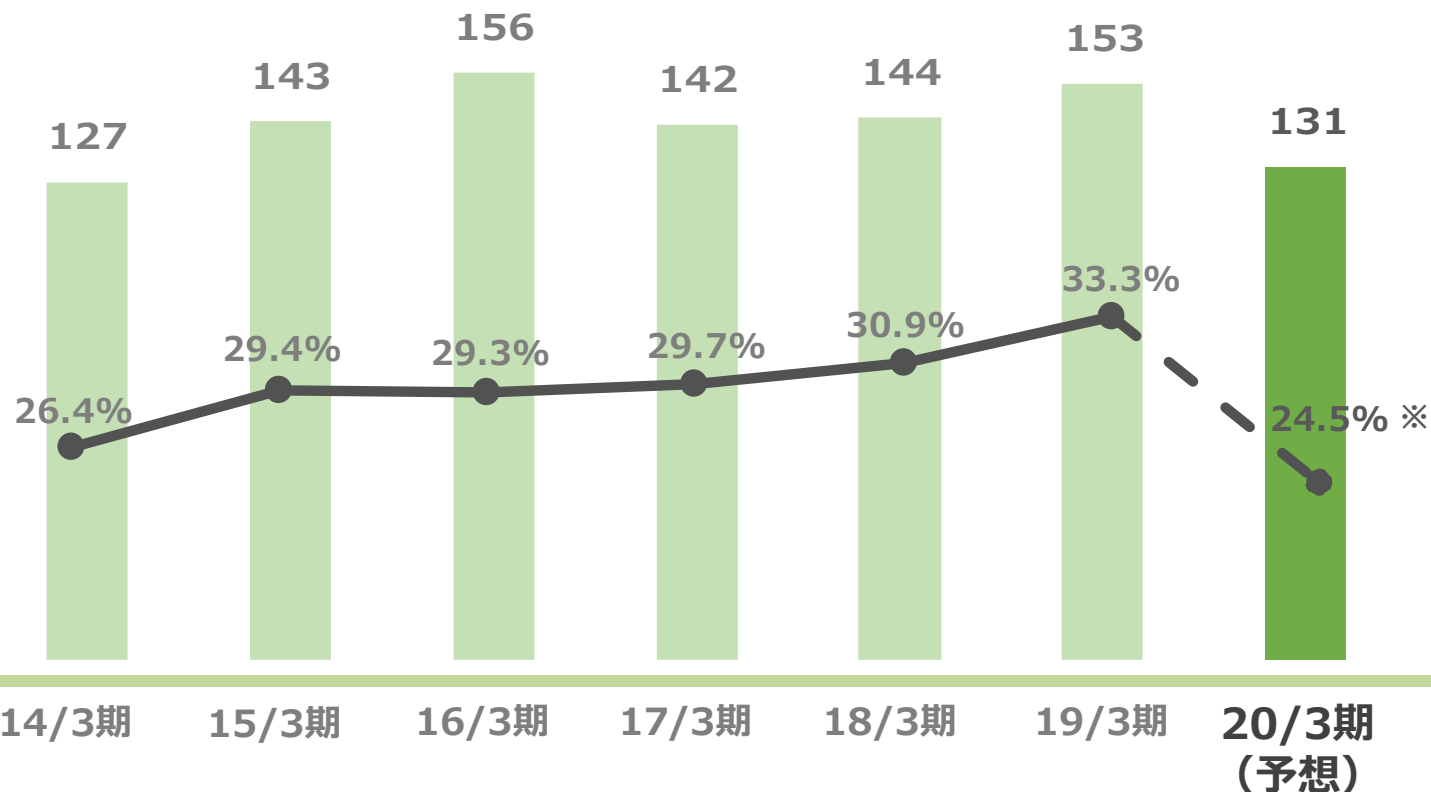
- シンガポールでの高級スーパー等の販路を拡大し、ギフトカードの取扱高増加
- 新たにベトナムへの進出を準備

全社共通 財務①

● ROE・営業利益 推移

■ 営業利益 ● ROE（自己資本当期純利益率）

（億円）



高水準のROEにより
JPX日経インデックス400に継続選出

※20/3期（予想）のROEは、20/3期における親会社株主に帰属する当期純利益（予想）および自己資本の期中平均（予想）に基づき算出。

全社共通 財務②

● 主要財務指標の推移

通期（単位：億円）	14/3期	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期
当期純利益	68.3	77.4	94.9	96.9	101.6	138.4
自己資本	235.9	291.0	358.1	293.6	364.4	467.3
自己資本当期純利益率 (ROE)	26.4%	29.4%	29.3%	29.7%	30.9%	33.3%
投下資本利益率 (ROIC)	10.0%	13.5%	17.3%	17.6%	20.3%	22.0%
売上高営業利益率	1.8%	2.2%	2.5%	2.6%	2.6%	2.9%
純資産配当率 (DOE)	10.0%	9.8%	9.1%	9.9%	9.3%	10.0%

全社共通 財務③

株主還元策

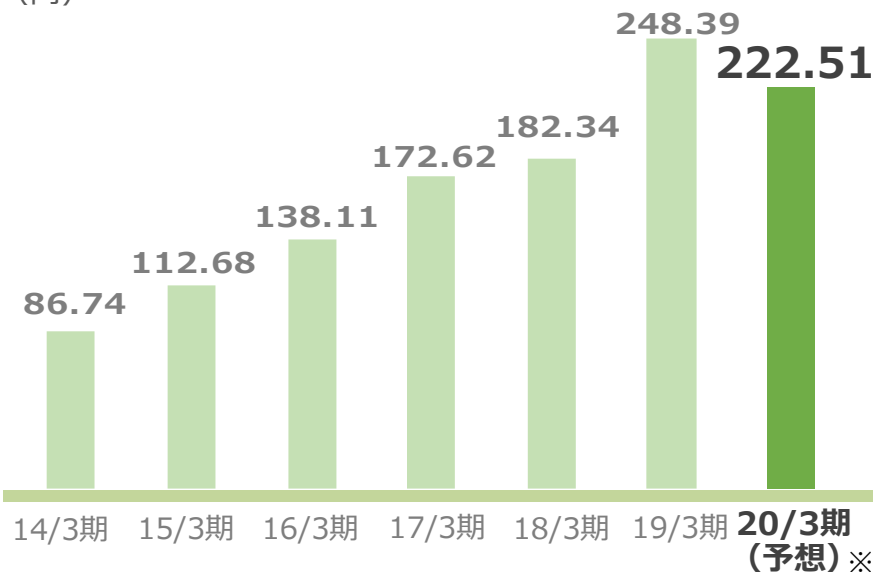
20/3月期 株主還元策

- 年間配当金：**75円**/株 （中間配当金：37.5円/株、期末配当金（予定）：37.5円/株）

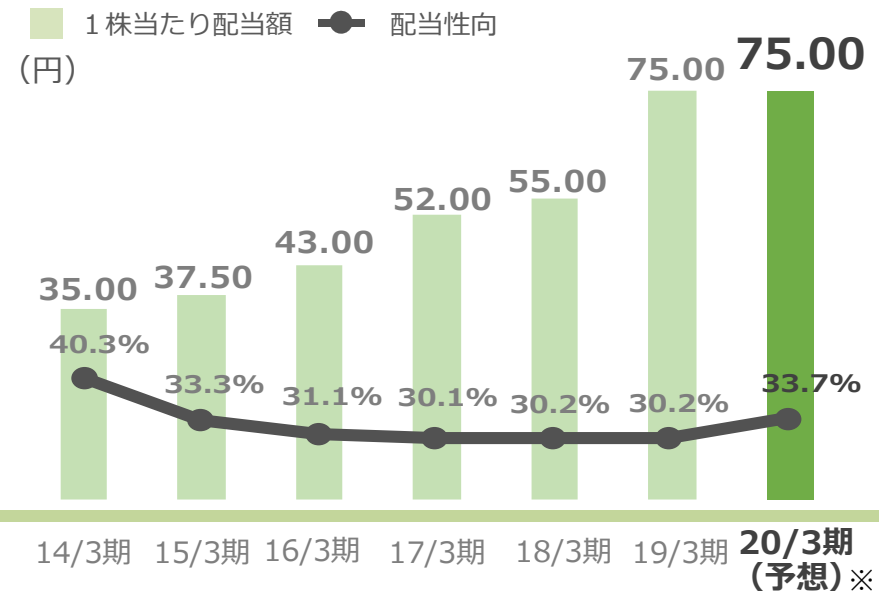
配当の基本方針

配当性向30%以上を目処として利益還元を実施

- 1株当たり当期純利益
(円)



- 1株当たり配当額と配当性向



※20/3期（予想）の1株当たり当期純利益および配当性向は、20/3期末における期中平均株式数（予想）に基づき算出。